

2021 年度第 6 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2022 年 1 月 27 日（木） 午後 8 時から 9 時 30 分
- 2 方 法：ZOOM アプリを媒介にしての遠隔会議
- 3 議決権のある理事：9 名
出席者：座間直壯、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、中川恭一、保坂一房、堀 渡、
堀越洋一郎
欠席者：
事務局員の参加者：雨谷

(1) 第 1 号議案 会員の動向について【報告】

- ・2022 年 1 月 25 日現在
正会員 81 名 2 団体 賛助会員 35 名 1 団体、計 116 名 3 団体（合計 119）
（前回報告以降変更なし）

(2) 第 2 号議案 「図書館資料の里親探し」事業について【報告】

- ・昨年 12 月 9 日 調布市立図書館から大量の提供の申込み（39 タイトル 404 冊）がある。内容は、不揃いの全集が大半。
- ・多摩地域の所蔵や欠本の調査をした上で、12 月 16 日に募集開始（12 月 28 日締切）、慌ただしい時期にも関わらず、たくさんのご応募をいただいた（9 自治体から計 114 冊の申込み）。新館建設準備中の多摩市立図書館からは一括引取を含めた応募、他の自治体からは概ね、欠号補充の応募だった。
→「①一括引取希望②欠本補充 ③汚破損本取替えの順で、各先着順」というルールにより、最終的に 7 自治体が計 20 タイトル 95 冊の里親と決定。
- ・1 月 21 日 里親先が決まった資料を受取り、配達。1 市を除き配達完了。その 1 市は、ゆうパック着払い可の申し出があり、22 日に発送した。
- ・1 月 6 日 調布市より追加の依頼（さらに 4 タイトル 85 冊を提供できるので活用先を探してほしい）があり、未所蔵と欠本の調査を行い、1 月 19 日に募集を始めている（1 月 31 日締切）。
- ・1 月 26 日 新たに、府中市立図書館から提供の申込みが入った。所蔵や欠本の調査を始めている。

(3) 第 3 号議案 多摩デポ実践講座の開催報告と次回の企画について【報告・討議】

- ・資料保存と資料の活用を図る目的意識をさらに喚起し、あわせて新たな会員を開発することを旨とした「多摩デポ実践講座」を企画、実施した。
- ・第 1 回は、「どうして、あれが検索でヒットしないの？」と題し 12 月 7 日に、Zoom によるオンラインで開催。参加者は 21 名だった。企画した事務局員の雨谷が講師をして話し、カーリルの吉本代表へ質問しながら、データ検索の謎について掘り下げる内容だった。
- ・講座は、参加に無理のないように、予定した 1 時間で終了した。講師は用意したことを話せ、

吉本氏のコメントも入れられたが、その時間だけでは参加者からの反応がよく引き出せなかった。参加者には事後のアンケートをお願いし、回収率はよかったが、まだ企画については様子見といった反応もあった。急ぎよ、別の日に Zoom による講座参加者の懇親会を企画したが、それには参加者はいなかった。次回の進行上の反省点である。

- ・しかし、コロナ禍が長引いて、リアルな集会の開催が考えづらい状況が続く中、別のやり方に踏み出すことができた。オンラインで講座を行うノウハウ、PR の仕方、事後アンケートの集計方法など、今後に生かせるだろう。手応えを持つことができた。
- ・リアルに集まれる講座ではないが、参加した人が課題を持ち帰ることができるような企画を考えていきたい。
- ・今後、年度内に二つの実践講座を予定している。
- ・第 2 回は、第 1 回とほぼ同じ内容で、参加者を多摩地域の現役職員に限らず、むしろ一般会員や市民にした、図書館の蔵書検索やその周辺を深掘りする Zoom による講座。2 月下旬にも開催できるとよい。
- ・第 3 回は、TAMALAS 一括システムの大量蔵書の点検への活用事例を紹介し、各図書館でのこのシステムの応用した使い方の検討や普及に向けた講座。
 - ・府中市立中央図書館では、今年度、TAMALAS 一括処理システムを活用して、大量の除籍候補の点検を行っているが、2 月 4 日には、図書館長協議会（館長会）図書館サービス研究会でこのテーマの職員研修の録画取りが、多摩デポとの共催事業として行われることになっている。館長会としては、従来の除籍資料担当者会が行っていた活動を引き継いで維持していく形。昨年度まで除籍資料担当者会の担当館長だった中川理事が司会し、府中市の書庫適正化の担当の笹川氏が報告し、TAMALAS の構築をされた吉本氏がコメントする。
 - ・多摩デポとしては、この研修会が実施された後、各市から寄せられる反響も見ながら、TAMALAS 一括処理システムの理解を促し、応用した各図書館での活用を考える実践講座を行いたい。3 月中旬には実施できるように、現在は館長会の研修を調整、準備中。

(4) 第 4 号議案 (株) カーリルとの共同研究について【報告・討議】

- ・たましん歴史資料室の資料を対象とした ISBN 自動附番の実験について
歴史資料室の資料を対象とした ISBN 自動附番の実験は、一応の結果が出ており、それを論文にして残し、公表しようという取り組みに移っている。
- ・報告論文の構成内容は下記のとおりである。発表媒体としては『現代の図書館』を想定し、執筆要綱もこれに沿った形とする。2 月末を目途に執筆を開始し、次回の定例会に持ち寄ることになっている。

報告書のタイトル

案 1 : 「図書館の蔵書データに対する未入力 ISBN の機械的な自動附番作業—その経過と検証、そして実用性について— (案)」

案 2 : 「たましん歴史資料室の書誌情報への ISBN 遡及入力プロジェクトの実践 (案)」

報告書の構成

はじめに

- 1 検証作業の具体的内容 (多摩デポ)
- 2 ISBN の機械的自動附番の体系的なスペック (カーリル)
- 3 誤附番になった理由や現物チェックが必要になった理由の検証 (多摩デポ)

4 結果を基にした書誌情報への ISBN 入力（たましん）

5 導入効果とまとめ（多摩デポ）

おわりに

- ・多摩デポが執筆をする部分の割り振りは、これから事務局会議で詰めていく。
- ・なお歴史資料室では、今回の取り組みをとおして、ISBN が未入力であった資料に入れられた ISBN データを生かし、今後受け入れる資料にはデータに ISBN を入力することになった。
- ・その結果、歴史資料室を TAMALAS の参加図書館として位置づけ、国立国会図書館、東京都立図書館と同様に表示の色を変えながら検索結果に反映するようにする。なお、歴史資料室が参加図書館に含まれることに対する、説明表示を検討中である。
- ・今後、この実験の検証を踏まえ、多摩地域の各図書館でまだ ISBN が付与できていない蔵書に対する付与の可能性を考えていきたい。また、多摩の地域資料の書誌データベース（多摩 MARC）を作り、デジタル下でのデポジットライブラリーの可能性を考えていく。

(5) 第 5 号議案 「多摩デポ通信」第 59 号の発行について【報告・討議】

- ・季刊の『多摩デポ通信』第 59 号の紙面が、別添のように 8 ページ立てで、おおむね出来上がりつつある。
- ・まだ数段分の余裕があるが、そこには、本日の理事会の第 3 号議案で行われた討議を生かして、実践講座の第 2 回、第 3 回の予定を紹介していきたい。
- ・1 月 28 日の午後に印刷、その後、発送の予定。
- ・次号の第 60 号は、発行間隔が短くなるが、多摩デポ実践講座の第 2 回、第 3 回の詳細や開催日が決まり次第、その案内を記事に書き、チラシを同封して、2 月後半から 3 月初めには発行していきたい。

(6) 第 6 号議案 年度内および次年度に向けた活動の見通しについて【報告・討議】

- ・年度内には、オンラインによる実践講座の第 2 回、第 3 回。たましん歴史資料室の蔵書の ISBN データが入力される部分の TAMALAS へ参加。カーリルとの研究会の成果の論文執筆、発表。里親探し事業の継続等が予定されている。
- ・そろそろ、次年度の総会に向けての検討を開始しなければならない時期である。事務局会議で検討して、理事会に諮っていきたいので予定しておいていただきたい。
- ・リアルな総会が開催できるか、講演会はどうするかなど、見通しや条件が読めないところがあるが、事務局で原案を作るための提案をいただきたい。

(以下、理事から出された提案や議論を列記する)

- ・講演会はぜひやった方がいい。
- ・プレ総会企画として、ゲストを呼んで短い時間話してもらい、会員同士で意見交換をする場を設定してはどうか。
- ・多摩デポがコーディネートして、日ごろ逢えない人同士の対談をしてもらうのもいいのではないか。これらは、ZOOM だからできるということもある。
- ・今年度中旬には、国会図書館の蔵書の、個人宅へのデジタル配信が始まる。評価できることだが、今後の展開によっては、各公共図書館の蔵書の保存の意味が問われる場面が出てくること

が考えられる。配信が行われるなら現物はなくてもいい、となることを危惧する。現物保存の重要性を訴えていきたい。

(7) 情報交換

- ・事務局からは特になし

【多摩デポ関係記事】

- ・時になし

【共同保存図書館関連論文】

- ・特になし

【今後の予定】

- ★ カーリルとの共同研究 第 59 回定例会 2 月 28 日 (月) 午後 8 時～、 Zoom を使って
- ★ 事務局会議(2021 年度第 8 回) 月 日 () 午後 8 時～、Zoom を使って
- ★ 次回理事会 第 7 回理事会 3 月 2 日 (水) 午後 8 時～、Zoom を使って

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、中川恭一理事、堀 渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2022 年 1 月 27 日

議長

議事録署名人

議事録署名人